

事業の方向性

事業領域

東海理化グループの重点3製品分野である入力システム、セキュリティシステム、乗員保護システムを世界トップレベルに成長させます。製品と市場の変化を捉えた新分野にも積極的に挑戦していきます。

コンピタンス

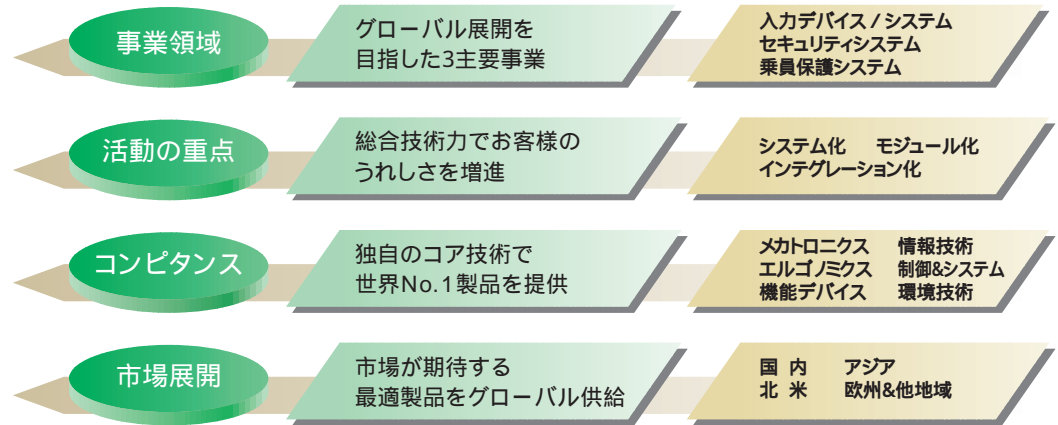
ヒューマンインタフェース、セキュリティ、セイフティ分野を中心に、時代をリードしお客様に信頼されるコア技術を一段と強化します。

活動の重点

全体最適を一層推し進めるため、システム・モジュール・インテグレーション化に向けた開発・提案に重点を置いていきます。

市場展開

国内、北米、アジア、欧州の4極を中心に、さらに他地域についても標準品と地域対応品をバランスさせて市場展開をはかっていきます。



目指す企業像

市場創造企業

専門メーカーとして積極的に先行開発に取り組み、時代を先取りした新製品を市場にお届けする『市場創造企業』を目指します。

提案型企業

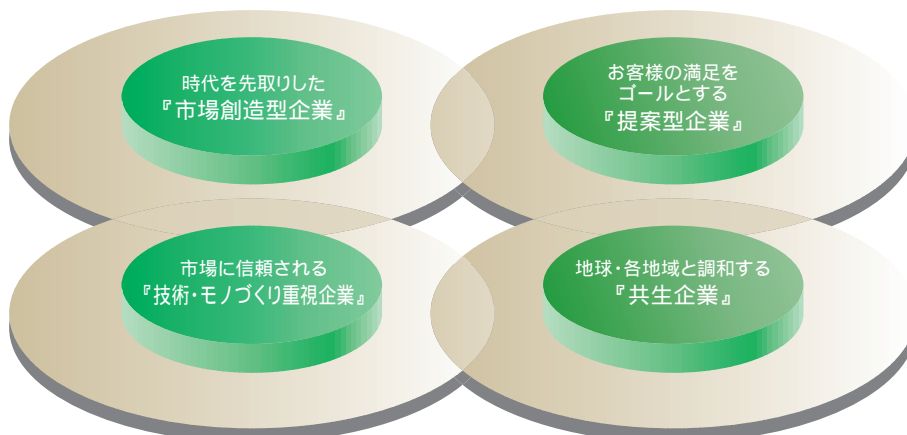
お客様との対話を大切に、ニーズに先行した提案をしつづけることにより、お客様の満足をゴールとする『提案型企業』を目指します。

技術・モノづくり重視企業

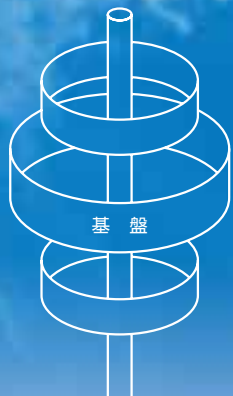
私たちは技術の進歩を愛するとともにモノづくりの原点を忘れない、市場に信頼される『技術・モノづくり重視企業』を目指します。

共生企業

私たちは、地球環境との両立や各地域の人々の幸せにも十分な研究・検討を重ね、地球・各地域と調和する『共生企業』を目指します。



基盤ビジョン



機能別活動
組織・マネジメント
情報
人財

機能別活動

技術開発

市場のウオンツを創造する企画開発力と専門メーカーとしての要素技術力の充実をはかります。また、システム・モジュール開発を効果的に推進するグローバル協業体制も整備していきます。

生産・調達

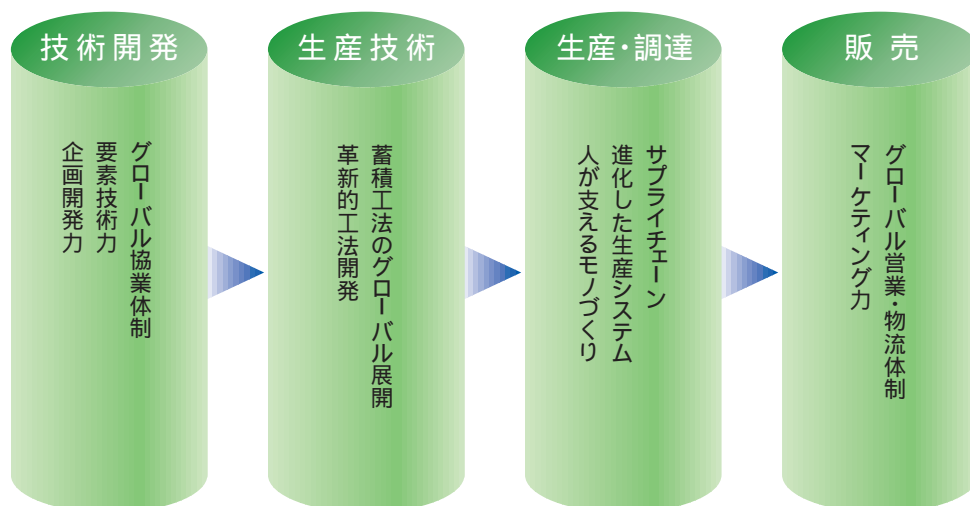
私たちの伝統である“人が支えるモノづくり”を大切に、また技術・情報革新に対応した“絶えず進化する生産システム”に重点を置きます。効果的なサプライチェーンも順次確立していきます。

生産技術

画期的な新規商品や低価格商品を製造するため、製品開発と同期した革新的工法の開発力を強化します。また、これまでに蓄積された標準工法を適切にグローバル展開していきます。

販売

ユーザーに視点をおいたマーケティング力を強化します。また、グローバルでのスピーディな営業活動や最適な物流活動のための体制整備もはかっていきます。



組織・マネジメント

効果的なグローバル経営を目的に、自律分散型の事業単位と機能統合型の本社体制を有機的に統合し、スピーディで柔軟なダイナミックマネジメントを実現します。そのために、権限・責任が明確なフラットで開かれた組織の充実をはかります。

情報

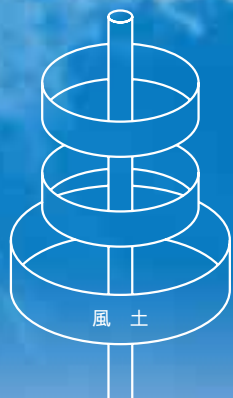
ビジネス革新を目指し、先進のITを活用した情報システムを構築します。迅速かつ的確な意思決定を支援する基幹情報システムと効果的で円滑な業務プロセスを支援する社内外ネットワークを整備・充実します。

人財

個々人のビジョンや能力を引き出せるプラス指向の人事システムを築き上げ、多様な個性とバランス感覚に富んだプロ集団の形成をはかります。国内外の各拠点で国際性と創造性が豊かな人財を育成し活用していきます。

風土ビジョン

企業イメージ
目指す社員像
活動の場



企業イメージ

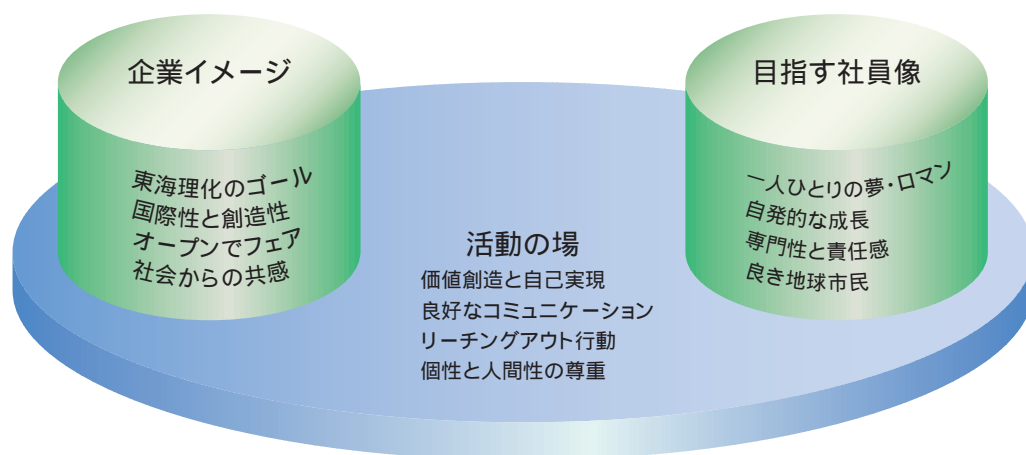
世界を舞台に常に可能性にチャレンジしていきます。地球と調和し、地域を大切にします。関わるすべての人々と双方向のコミュニケーションをはかり、グループ員全員が目標を共有した生き生き企業を目指します。

目指す社員像

グループ員一人ひとりが夢とロマンを持ち、自発的に大きく育ち、専門性と創造力を高めていきます。同時に、国際性に満ち、お互いを尊重し合うよき地球市民へと成長します。

活動の場

価値創造と自己実現を最も重要と考えます。個性と人間性を尊重しつつ、お互いに相手の活動領域まで行動範囲を広げるリーチングアウト行動を徹底します。



実現に向けて

産業・経済構造の転換期そして大競争時代と現在を位置づけ、21世紀初頭にもうひと回り成長し世界で活躍するための『TOKAI RIKA 2010 VISION』は、全社員が共有し、新しいチャレンジに挑む東海理化の指針です。

東海理化の全グループ員が双方向のコミュニケーションを通して、このビジョンを切れ目のない計画体系に反映し、効果的な業務活動に展開していきます。グローバルな視点で事業を捉え、多様な目標を達成するためには、会社、部門、地域、上司・部下が互いにリーチングアウト行動をとることが重要となります。

“世界へ飛翔 期待される企業”には、限りない可能性があります。この可能性を私たち自身の手で実現していきます。